

番号	事業名	団体名	所在地	事業内容	助成額（円）	内訳（円）	理由
1	店舗再生による持続可能な地域課題の解決	愛のまち合同公社	滋賀県東近江市	交通弱者にとって暮らしを支える必需品が身近に入手できた地区唯一のスーパーマーケットの閉店に伴い、これを地区一体となって再建し、宅配や移動販売、交流機能も強化して、集落や世代を超えた新たなコミュニティを構築する。	16,100,000	<直接事業費> 16,100,000 <管理的経費> 0	地区住民の、住民による、住民のための店舗再生は、人口減少地区のポストコロナを見据えた住民の暮らしを支える取組として高く評価し採択とする。
2	ポストコロナに向けた中心市街地活性化事業	一般社団法人八日市まちづくり公社	滋賀県東近江市	八日市駅前に位置するSATSUKI-ROを活用し、人々の居場所と交流拠点の創設、商業振興のためのソフト事業を展開することにより、八日市駅前エリアに新たな人の流れを生みだし、衰退した中心市街地の再生を図る。	12,000,000	<直接事業費> 12,000,000 <管理的経費> 0	多くの人々が行き交う八日市駅前に位置するSATSUKI-ROを整備活用し、コロナ禍で苦しむ中心市街地の事業者等と連携して、八日市駅前エリアに人を呼び込む取組は、ポストコロナに向けた中心市街地活性化事業として高く評価し採択とする。
3	多文化共生のまちづくりに向けての第一歩	特定非営利活動法人まちづくりネット東近江	滋賀県東近江市	日常の暮らしの中で、多文化共生を実現するため、文化の違いや生活習慣の違い等を認め合える関係を構築する第一歩として「多文化共生 フェスタ」等の実施し、それらを通して、今後の推進体制を構築する。	3,000,000	<直接事業費> 3,000,000 <管理的経費> 0	第1弾の新型コロナウイルス対応緊急支援助成の採択団体の連携会議から見えてきた多文化共生の課題解決の足掛かりとなる取組は、この次の展開も期待でき高く評価でき採択とする。
4	ママや子どものためのレンタルフリースペース	一般社団法人 マミーズ	滋賀県東近江市	ママの「子育てとの両立」から一歩進めて「社会に活躍」する足がかりとするため、ママ達が子育てと両立しながら、一人ひとりのスキル、経験、才能、モチベーションを活かし周りに広げ、それをまた享受する場所と形態を構築する。	3,900,000	<直接事業費> 3,900,000 <管理的経費> 0	コロナ禍で悩む「小規模認可保育園」「一時預かり事業所」を利用する子育て世代の課題解決と同時に、可能性をサポートする取組は、評価でき採択とする。
5	旧岡村邸フリースペース「ガリ版楽校」	一般社団法人がもう夢工房	滋賀県東近江市	ガリ版伝承館に隣接する空家を拠点に、学習・自然・芸術体験が提供できるフリースクールをめざした施設整備・準備・試行。近江商人 堀井家の企業精神・ガリ版文化の発信・地域ビジネス化。	9,000,000	<直接事業費> 8,640,000 <管理的経費> 360,000	コロナ禍で停滞した活動からの反省を生かし、当事者目線の多彩な接触、アウトリーチの取組は、評価でき採択とする。
6	ポストコロナの子育て支援	一般社団法人Loops	滋賀県東近江市	アクセスしやすい商業施設に拠点を置き、スクール事業・サポート事業・つどいの広場事業など多彩な入口を用意して、来所・オンライン・訪問のアウトリーチで「つながりを切らない」親子の継続的支援を行う。	4,000,000	<直接事業費> 4,000,000 <管理的経費> 0	コロナ禍で停滞した活動からの反省を生かし、当事者目線の多彩な接触、アウトリーチの取組は、評価でき採択とする。
7	木地師のふるさと新型コロナウイルス対策	木地師のふるさと高松会	滋賀県東近江市	地域がこれまで守ってきた木地師関連資料の「常設展示」でき、地域を未来へ継承するための交流・関係人口を獲得するための拠点を整備して、交流事業を展開する。	9,000,000	<直接事業費> 9,000,000 <管理的経費> 0	限界集落の住民自らが、ポストコロナを見据え地域資源を活用して、交流、関係、移住の取組は、評価でき採択とする。
8	複業による経済的自立の促進と地域への貢献	かねいビル愛好会	滋賀県東近江市	一つの収入源に頼らない「兼業」という働き方や、小さな起業機会を生むための「協働」の場所の提供・実証する場として中古アパートのリノベーションとブランド構築・情報発信。	3,000,000	<直接事業費> 3,000,000 <管理的経費> 0	ポストコロナを見据えた「兼業」、「協働」をキーワードとする働き方に可能性を感じる。これを具現化する若者の取組は評価でき、他地区の展開も期待して採択とする。